

<ひとこと>夏休み、帰省の妻と子らを見送って、金魚のえさやり、植木の水やり、ひとりでぼんやり

2009年度 第1回あいネット連絡調整会議開催



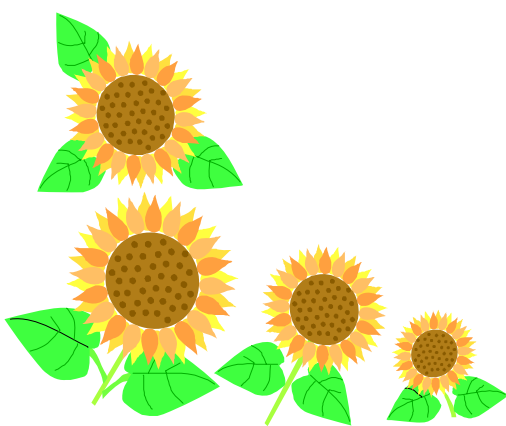
七月二十四日に二〇〇九年度の第1回目の連絡調整会議を開きました。

報告以外の議題は、

①関係各課との連携体制
(各課とは保健所、障害福祉課、生活支援課、高齢者支援課、家庭児童相談室、地域包括支援センター)

単に昨年度に引き続きのテーマというよりも常に意識するテーマとして意見交換を行いました。

ひとつは、あいネットが把握したケースを市の各課につなぐ場合、又は逆の場合であっても、相談者はどこかに連れて行かれるたびに、「何度も同じ話をしなければならぬ」「負担があることについて何か改善できないかについて。この点では共通の基本情報シートがあるといいのでは」と言う意見や、「何で何度も同じ説明をするの」と「何で知ってるの」との両面の考えがあるので留意する必要があるという意見。基本情報程度を、本人の前で同意を得て説明をすることが良いのではないかという意見などが出ました。庁内での相談記録の電算化による共有は、どの課も紙ベースで記録・管理している現状がわかりました。



②あいネットに対する意見
二十四時間三六五日の対応や訪問・付き添いなどが出来ることの継続、行政のセカンドオペニオンの存在としての使い方が市民にとってはあるなどの意見をいただきました。

ちい地域で「ゆるーとーく」



人生の折り返し地点を過ぎると、僕は相談を親族友人知人ではなくそれが猫であったりする。

もちろん相談の内容にもよるが、日常的な相談はこの猫でほぼ解決する。

猫は自宅に2匹居る。

猫と言っても大切な家族の一員である。今日も悠々自適に居間で寝ている。帰ると玄関にわざわざお迎えに来てくれて、僕の様子を伺っているのがよく分かる。

「今日も一日頑張ったよ。」と伝えると、愛らしい素振りです。「ニャー」「ニャー」と言う。時には何も言わず後向きになつて長いそのしなやかなシッポで応えたりもする。

とても不思議なのは相当暗い表情で帰った時だ。「ニャー」と1回、2回、3回、相当言う。素振りもいつもと全然違う。「あれっ」「ふつと我に省みる。「基本に戻ろう。人を大切にしよう。意思を正しく伝えよう。」と。

今までの人生で培った信条、それはいつもこの3つである。何かにつまずいた時、何かに問い直す時、結果からすれば今までの人生経験で回答が出せるはず。でも、人はそれに気づかない、それを忘れてしまっている。残念ながら、僕もそうである。それを大切な家族の一員が気づかせてくれるのである。

拳成会 柏空手道教室
松田秀一

柏市自立支援協議会「かしわっ葉ネット」

発足式そして専門部会の開催

六月三〇日に発足式が行われました。部会別にテーブルが分かれた会場で、経過や柏市障害者基本計画についての説明後、質疑が行われました。専門部会は九月末までは「ノーマライゼーションかしわプラン施策」についての作業部会という位置づけで論議していくという説明がありました。そこで、「プランでは七つの柱になつているが部会は4つのみで、こどもと権利擁護、医療はどうするのか、新たに部会の必要性があるのでは？」という質問に対し、今年度は表(表1)のようにし、今後の課題としたいという回答がありました。

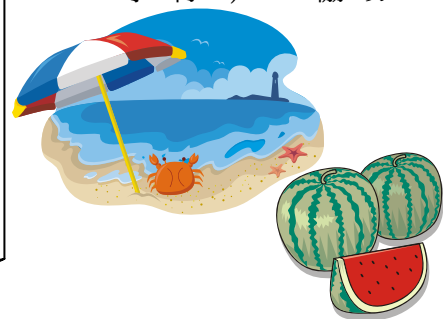
表[1]

柏市自立支援協議会「かしわっ葉ネット」 〈4つの部会〉	ノーマライゼーションかしわプラン 〈七つの柱〉
1) 相談支援部会	○ 情報提供・相談、権利擁護体制の構築 ○ 健康・医療体制の充実
2) 暮らし部会	○ 暮らしを支えるサービスの充実 ○ 子どもの成長支援
3) はたらく部会	○ 誰もが働きやすく、活動しやすい環境づくり
4) まちづくり部会	○ 福祉意識の醸成と支えあいの環境づくり ○ 安心・安全な生活環境の整備

* ノーマライゼーションかしわプラン 基本理念「みんなで作る みんなで暮らせるまち かしわ」

(第2期柏市障害者基本計画(中期プラン)、第1期柏市障害福祉計画)

このような自主的に参加を募った部会を主とした自立支援協議会は他には見ない形であり、当面試行錯誤が続くそうですが、今後、部会は原則公開で行うとのこと、市民の関心が大事などころです。



「そちらは、どんなことをしてくれるところですか?」という問合せがあると、「ん〜」と一瞬ためらう。「ねえ、毎日通所してくる方に気持ちが動いて、よりよく生活上のサポートをしようって思うのは、(情として)分かるけれど、君は日々新しい人(相談者)と出会って、気持ちの整理はどうしているの?」と問われると「ん〜」とこれまたためらう。昨日と同じ動きや時間の流れは、

全くなく、スケジュール帳も3週間先は真っ白。通り過ぎると真っ黒といった状態。そんな業務中で「日々ニーズは変わると理解し、常に気持ちを落ち着かせていること」は、私のような者にとっては至難の業。いつまで続くのか…私の上司はにっこりと笑い「いつまでも、いつまでも続くのよ」と。ずっと気持ちが落ち着いた。

地域活動支援センター zazaby

今回は社会福祉法人彩会の『地域活動支援センターzazaby』を取材しました。お仕事にお邪魔させていただいたzazabyの皆さま、ザザビー・ドゥの皆さま、ありがとうございました。



受注作業は、納品をスタッフが行う以外は、完成までの作業工程を全てメンバーが行っています。毎月3000円の工賃を目標に、黙々と作業をされていました。

もらった工賃で外食や買い物をするのが、皆さんの仕事の励みになっているそうです(^o^)



東武野田線の増尾駅から徒歩約7.8分に、新たに活動場所を移した『地域活動支援センターzazaby』があります。

現在は6名の登録者がいて、5名が毎日活動を行っています。

メンバーは全員男性なので「女性のメンバーが来ないかなあ〜」という声もあるとか(笑)スタッフは男性と女性が1名ずつで、利用枠にも若干名の空きがあります。女性のメンバーも募集中です!

主な作業内容

- 受注作業(取材日には、タオルの袋詰めをしていました)
- お店番(接客とレジ打ちができるメンバーがリサイクルショップで働くこともあります)
- サークル活動(トーンチャイムや茶道、絵画など。トーンチャイムはコンサート、各イベントで披露しています!)
- 日常活動(掃除、洗濯、電話受け、買い物など。メンバーの日常生活における課題にも取り組んでいます)
- 外出(外出、散歩、プールなど)

地域活動支援センター zazaby

住所: 柏市増尾台 1-5-3 (1Fリサイクルショップ)

柏市増尾台 2-2-7 電話: 04-7175-6741

活動時間: 地域活動支援センター 月~金 9:30~16:00

日中一時支援 月1~2回の土曜日



おしらせ

◇◇◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(04-7165-8707)までご連絡ください◇◇◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆社会企業家・地域活動家養成講座<入門コース> 「何かしたい!」「何とかしたい!」「起業したい!」と思っている方々の福祉の制度外有償サービスの立ち上げを応援する講座を開催します!	8/15(土) 13:30~ 15:30	柏市中央公民館 4階 会議室2 柏市柏 5-8-1 (でんわ) 04-7164-1811	無料 定員 (30名) 先着順	FAX、 Eメール 郵送 にて、右 記まで	主催:千葉県 :NPO法人ブレイクの星数支援センター 〒292-0831 木更津市富士見 1-2-1 アクア木更津ビル 8階 でんわ 0438-20-3751 FAX 0438-20-3752 Eメール info@hoshikazu.com
◆第2回「自閉症スペクトラムの理解と支援」:高畑和子さん(言語聴覚士) ◆第3回「障害のある子の心豊かな成長を育むために~県総合教育センターの活動より」:松本巖さん(県総合教育センター特別支援教育部研究指導主事)	8/22(土) (第2回) 13~15:00 (第3回) 15:15~ 17:15	千葉大学 総合校舎A号館 A201教室	それぞれ 1000円 (資料代) 定員各 (50名)	☎:8/17 FAX、 Eメール 電話 にて、右 記まで	主催:NPO法人ちばMDエコネット :千葉県 コミュニティカフェ<ひなたぼっこ> でんわ&FAX 047-426-8825 Eメール sun@mdeconet.jp →件名に「学校支援事業研修申し込み」と明記して下さい
◆第1回 読み聞かせ指導者養成講座 「今、学校で何故読み聞かせなのか」 一子どもは求めている。触れ合いと創造の世界を!- 井原修一先生 (我孫子市立布佐小学校校長)	8/25(火) 10:00~ 12:00	教育支援三アイの 会会議室 (柏駅東口 柏神社 先)	無料	不要	NPO法人教育支援三アイの会 柏市柏 3-6-14 増谷第1ビル 4階 402号 でんわ 04-7162-2130 FAX 04-7162-2140 http://www.geocities.jp/kashiwa_kosodate/
◆障害者計画・東葛市民 9.6 シンポ 2009.4 から、第4次千葉県障害者計画が開始されました。この計画を進めていくため、県との共催で東葛地域の障害福祉のシンポジウムを企画しました。	9/6(日) 13:00~ 17:00	沼南公民館 大ホール (でんわ) 04-7192-1111	無料	不要 手話通訳 要約筆記 磁気ループ あり	共催 障害者計画をすすめる東葛市民の会 千葉県・かしわ障害者をむすぶ会 (連絡先) 事務局:NPO自立生活センターK2 (担当:古賀) でんわ&FAX 04-7139-5613